

# 令和7年度 年度 学校評価書

## 校訓・教育目標

明朗 剛健 立志

ふるさとに根ざし 明るく たくましく生きる生徒の育成

## 経営の重点事項

「ひない」力を身に付けさせる！ ～土台（あしば）を強固に～

### 具現化のための3プロジェクト

#### 【学びプロジェクト】

テーマ：ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける

- (1) 授業改善に関わる組織的研修及び実践
  - ① 各教科の「見方・考え方」を働かせた授業の展開と「きそワнтаイム」の充実
  - ② 諸調査のデータ分析と活用、研修成果の情報共有、効果的な研究会の取組
- (2) 基本的な学習習慣の定着
  - ① 「比内中授業の約束」の徹底
  - ② 「きそワナ学習（家庭学習）」の内容及び取組の充実

#### 【心と体プロジェクト】

テーマ：ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる

- (1) 基本的な生活習慣の育成及び進化
  - ① 「いつでもどこでも誰にでも」のあいさつを意識した取組
  - ② 各指導部と連携した諸活動の取組
- (2) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成
  - ① 生徒指導の実践上の4つの視点を生かした取組、アセス等の活用、自己肯定感を育む取組
  - ② 心に響く道徳授業の実践、各種要項に道徳との関連を明示

#### 【生き方プロジェクト】

テーマ：ふるさとに生き、自らを磨く力を付ける

- (1) 居心地のよい集団づくり
  - ① 互いのよさを認め合う場の設定、行事を生かした学級づくり
  - ② 係活動や当番活動の充実、ボランティア活動の推進
- (2) 生き方の探求
  - ① 生徒が主体の生徒会・委員会の展開
  - ② とんぶりSDGsを中心とした体験活動の実施・進化

大館市立比内中学校

ア  
生徒  
の  
状況

学校関係者評価区分の 自己評価Aと 自己評価Bの 評価基準	きわめて良好	自己評価Bの 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意識も高い／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学びプロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとに貢献し、未来を生き抜くために必要な学力を身に付ける。	中間	おおむね良好	おおむね良好	授業を参観した生徒の様子から、生き生きと学びに向かっている姿が見られた。今後、「きそワソワソタイム」「きそワソソ学習」に更に力を入れ、継続した指導を期待したい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	これからも目に見える学力の定着を目指し、つまずきのある子どもへの丁寧な対応に努めてほしい。今後も現状に甘んじることなく子どもたちの伸長に努力してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 校内研究に関しては、全職員による全校研究会と研究部報の発行を継続することで共通理解と共通実践の充実を図っていく。また、授業中の「きそワソソタイム」の充実のために、各教科部や全校研究会で、振り返りの機会を適宜設け、指導に生かせるようにする。 全職員で「授業の約束の徹底」の共通理解を図り実践しているため、授業中の基本的な学習習慣は身に付きつつある。しかし、十分な家庭学習の時間を確保し、授業の復習やプラスワソソの内容をきそワソソノートで実践している生徒が少ないため、再度家庭学習の仕方を全職員で提示していく。			
	【年度末（→次年度）】 対話を通して学びを深める「きそワソソタイム」は、教師・生徒ともにその価値を実感するに至った。ここからは、「きそワソソタイム」の効果的な場面や、学びを深めるための教師のファシリテート力の向上の為に校内研究の更なる充実を図っていく。 チャイム前学習では、教師も生徒も3分間には教室に入り取り組むことができた。また、家庭学習の仕方を再確認したことで、きそワソソが定着してきた生徒は成績が伸びた。今日学んだことをその日に復習する基礎学習が家庭学習で全員ができるように声を掛けていく。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(1) 授業改善に関わる組織的研究及び実践	①授業改善の推進	◇各教科の「見方・考え方」を働かせた授業の展開と「きそワソソタイム」の充実	3	4
	②校内研究の充実	◇研修成果の情報共有、研究の共通理解と実践、効果的な研究会の実施		
(2) 基本的な学習習慣の定着	③基本的な学習習慣の定着を図るための共通理解と共通実践	◇比内中授業の約束の徹底	3	3
	④家庭学習の時間確保と効果的な取組	◇「きそワソソ学習（家庭学習）」の内容及び取組の充実		

全国学力検査及び県学習状況調査

		国語	社会	数学	理科	英語	合計	
現中3	全国	R7	96.3	94.0	96.9	95.7		
	県	R6	99.5	96.0	105.7	89.2	99.8	96.8
	県	R5	100.0	98.3	89.2	89.9	92.9	94.1
現中2	県	R7	94.9	77.0	83.7	82.9	90.8	85.9
	県	R6	94.3	80.1	82.6	102.3	92.2	90.5
現中1	県	R7	94.2	102.9	103.8	104.8	111.7	103.5

(1) 授業改善に関わる組織的研修及び実践

① 授業改善の推進  
「きそワнтаイム」の取組

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	36.6	48.3	14.5	0.7
年度末	42.6	45.4	12.1	0.0



東北書写書道研 (11月)

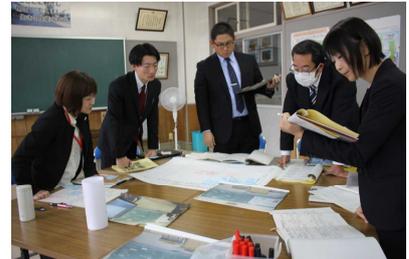
② 校内研究の充実  
「授業で学ぶ大切さと価値」の実感

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	49.0	36.6	11.7	2.8
年度末	38.3	47.5	12.8	1.4



指定訪問・数学、理科(12月)



指定訪問・社会 (11月) の研究会

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	5.9	64.7	23.5	5.9
年度末	17.6	76.5	5.9	0.0

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	11.8	52.9	23.5	11.8
年度末	12.5	56.3	31.2	0.0

(2) 基本的な学習習慣の定着

③ 基本的な学習習慣の定着を図るための共通理解  
と共通実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	26.2	58.6	13.1	2.1
年度末	22.7	63.1	13.5	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	16.7	55.1	24.6	3.6
年度末	18.8	47.9	27.5	5.8

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	5.9	64.7	5.9	23.5
年度末	0.0	82.4	17.6	0.0

④ 家庭学習の時間確保と効果的な取組

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	18.6	42.8	32.4	6.2
年度末	14.9	43.3	38.3	3.5

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	5.1	45.7	38.4	10.9
年度末	10.9	39.9	38.3	10.9

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中 間	0.0	17.6	58.8	23.5
年度末	0.0	23.5	62.9	23.6

## Ⅱ 心と体プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとと人との関わりを支える心と体をつくる。	中間	おおむね良好	おおむね良好	「あいさつ」について、生徒と保護者は肯定的な回答であるので、よいあいさつを見本に更に充実を図ってほしい。いじめ・不登校についても一人一人に寄り添った対応に期待したい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	生徒のヒアリングから、ふるさと比内・大館を大切にしていることが感じられた。アンケート結果をプラスに受け止め、家庭との連携を図りながら効果的な指導を目指してほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】	生徒と保護者は、あいさつについての項目では85%程度肯定的な回答をしている。規律についての項目では90%程度肯定的な回答をしている。しかし、教師の肯定的な回答は60～70%程度にとどまっている。あいさつについては、生徒・保護者・教師の三者が求めるレベルにギャップがあると考えられる。規律については、生徒が学校生活上の諸問題を正しく理解できていないことと、保護者が実態を正しく把握できていないことが考えられる。道徳教育を充実させるとともに、生徒指導対応したことを保護者にお伝えするなど、家庭と連携して生徒を育てていく指導体制を整えていきたい。		
	【年度末（→次年度）】	あいさつについての項目において、中間評価では教師の肯定的な回答が60～70%程度にとどまっていたが、年度末評価では肯定的な回答の割合が80%に迫った。教師が感じた生徒の変容を認め、あいさつの質を更に高めていきたい。生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組については、保護者の否定的な回答が微増した。諸問題が起こった際に、生徒指導体制を整え、適切な指導をしていきたい。また、指導体制や実際の指導が適切だったかを評価し、教職員の指導力を向上させる必要がある。その上で、家庭と連携して指導の効果を高めていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(3) 基本的な生活習慣の育成及び進化	⑤校内外の相手に伝わるあいさつの実践	◇「いつでもどこでも誰にでも」のあいさつを意識した取組	3	3
	⑥規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践	◇各指導部と連携した諸活動の取組		
(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成	⑦生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組	◇生徒指導上の4つの視点を生かした取組、アセス等の活用、自己肯定感を育む取組	3	3
	⑧道徳教育の充実	◇心に響く道徳授業の実践、各種要項に道徳との関連を明示		



比内中祭・劇「WINDS OF GOD」(10月)



合唱祭・全校合唱(10月)

(3) 基本的な生活習慣の育成及び進化

⑤ 校内外の相手に伝わるあいさつの実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	52.4	33.8	13.1	0.7
年度末	48.2	43.3	8.5	0.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	29.7	52.2	17.4	2.8
年度末	26.1	58.1	13.6	2.2

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	70.6	23.5	5.9
年度末	5.6	72.2	16.7	5.5

⑥ 規律ある落ち着いた生活と場に応じた行動の実践

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	43.4	52.4	3.4	0.7
年度末	41.8	51.8	5.7	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	30.4	59.4	8.7	1.4
年度末	31.9	60.9	5.2	2.2

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	58.8	41.2	0.0
年度末	0.0	66.7	33.3	0.0

(4) やさしさと強さ及び健全で共感的な心の育成

⑦ 生徒指導の諸問題への効果的な対応及び取組「充実した学校生活」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	53.8	39.3	6.9	0.0
年度末	53.2	41.1	5.0	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	37.0	56.5	4.3	2.2
年度末	39.9	50.7	8.7	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	11.8	70.6	17.6	0.0
年度末	5.6	94.4	0.0	0.0

⑧ 道徳教育の充実「思いやり」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	45.5	48.3	5.5	0.7
年度末	43.3	48.2	7.8	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	39.1	55.8	5.1	0.0
年度末	34.9	57.2	7.2	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	76.5	23.5	0.0
年度末	11.1	66.7	22.2	0.0

### Ⅲ 生き方プロジェクト

生徒の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとに生き、自ら磨く力を付ける。	中間	おおむね良好	良好	アンケート結果について、どの項目も大変肯定的な回答であるので、更に居心地のよい集団づくりやキャリア発達を目指す取組を充実させてほしい。また、今後も生徒主体の活動を大切にしながら継続してほしい。
	年度	おおむね良好	良好	生徒のヒアリングから、学校行事などにとってもやりがいを感じたり、学校を盛り上げたいと考えたりしていることが分かった。今後も生徒の主体的な活動を取り入れながら取り組んでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 本校の生徒は行事に対する意欲がとて高く、練習から本番まで、学級及び学年での自分の役割を果たそうと努力する姿が随所に見られた。令和4年度から取り組んでいる「とんぶりSDGs」では、例年の活動を進化させ、苗植え・収穫・広報活動（販売・レシピ紹介など）に全校生徒一人一人が取り組むことを通して、活動の一層の充実を図っている。与えられた役割や指示されたことに対しては責任をもって行動できる生徒が多く見られる一方、周囲の状況に応じて自分たちで判断したり行動したりする自主性については今後も一層育んでいきたい。			
	【年度末（→次年度）】 学級活動では係活動や話し合い活動を機能させて望ましい人間関係を促進したり、生徒会活動では生徒の発想や提案を尊重して進んで行事等に取り入れられたりするなど、学校全体で生徒の主体性や自己有用感を育むことに取り組んできた。また、様々な活動場面において「これまで通りでよい」「昨年度と同じでよい」ということで満足せずに、生徒がいま感じていることをもとにして時代の流れに即したものと変容させていくという視点をもつことを大切にしてきた。何から何まで生徒の好き勝手にやらせるということではなく、今後も生徒と先生方が協力し合ってよりよい比内中学校を創り上げていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(5) 居心地のよい集団づくり	⑨所属感を高める学級及びその他の集団づくり	◇互いのよさを認め合う場の設定、行事を生かした学級づくり	3	3
	⑩集団や社会の一員としての自覚と責任の育成	◇係活動や当番活動の充実、ボランティア活動の推進		
(6) 生き方の探求	⑪自主的・実践的な態度の育成	◇生徒主体の生徒会・委員会の展開	3	3
	⑫地域に根ざしたふるさとキャリア教育等の充実	◇とんぶりSDGsを中心とした体験活動の実施・充実		



とんぶりSDGs収穫（9月）



とんぶりSDGs販売・大館きりたんぼまつり（10月）

(5) 居心地のよい集団づくり

⑨ 所属感を高める学級及びその他の集団づくり

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	52.4	42.8	4.8	0.0
年度末	48.9	46.1	4.3	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.8	59.4	12.3	1.4
年度末	21.0	71.0	7.2	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	11.8	64.7	17.6	5.9
年度末	22.2	66.7	11.1	0.0

⑩ 集団や社会の一員としての自覚と責任の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	49.7	45.5	3.4	1.4
年度末	46.8	44.0	6.8	2.4

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	28.3	64.5	6.5	0.7
年度末	24.6	71.7	3.6	0.0

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	70.6	29.4	0.0
年度末	11.1	61.1	27.8	0.0

(6) 生き方の探求

⑪ 自主的・実践的な態度の育成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	52.4	34.5	11.7	1.4
年度末	52.5	38.3	9.2	0.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	26.1	61.6	12.3	0.0
年度末	23.9	63.8	10.9	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	58.8	41.2	0.0
年度末	16.7	61.1	22.2	0.0

⑫ 地域に根ざしたふるさとキャリア教育等の充実

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	64.1	29.7	4.1	2.1
年度末	57.4	36.2	6.4	0.0

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	33.3	61.6	4.3	0.7
年度末	40.6	52.2	5.8	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	11.8	70.6	17.6	0.0
年度末	16.7	72.2	11.1	0.0

#### IV 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校の取組を分かりやすく保護者や地域に伝えるとともに、地域の教育力を有効に活用する。 地域の活力となるよう双方向の連携を図る。	中間	おおむね良好	良好	情報発信について、連絡メール等で適時、有用な情報の提供が行われる。地域の行事やボランティア活動への生徒の参加については、積極的に参加を促し、地域貢献に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	比内地区子どもサミットや学校保健委員会などの活動を家庭や地域に更にアピールしてほしい。これからもボランティア活動などに積極的に参加し、地域貢献に継続して取り組んでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<b>【中間（→年度末）】</b> 学年通信や学校報、部活動の便り等で、学校での活動の様子を分かりやすく伝えるように努力している。今後も定期的な発行やホームページ更新、連絡メール等の発信を継続し、効果的な情報提供に努めていきたい。 今年度も親子早朝奉仕作業等への保護者の協力は大変良好である。総合的な学習の時間の「とんぶりSDGs」では地域の方々の協力を得ながら、地域の特産物についての理解や体験活動ができています。今後も協力を協力を得ながら、地域のボランティア活動への参加も促していきたい。			
	<b>【年度末（→次年度）】</b> 学年通信や学校報等で、生徒の活動の様子を写真等を交えて分かりやすく伝えるように努めた。11月からは連絡ツール（Tetoru）が導入され、メール配信だけでなく家庭からの欠席連絡等のやり取りが可能になったことから、今後有効に活用を行ってきたい。 地域のボランティア活動への参加について、地域の方々の御協力のもと、生徒は「とんぶりSDGs」や比内とりの市、福祉施設の除雪等の活動をすることができた。今後も御協力を得ながら、地域貢献への意欲を高めながらふるさとへの愛着心を育てていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(7) 保護者・地域等との連携	⑬保護者・地域への情報発信	◇学校報、学年・部活動だよりの内容充実、HP更新、地域の教育資源・人材の活用	3	3
(8) 地域貢献等	⑭地域での活動及び行事への参加、郷土愛の醸成	◇地域行事・地域貢献活動への参加と協力	3	3



親子早朝奉仕活動・校内清掃(9月)



比内芸術文化祭・吹奏楽部演奏(11月)



年賀状ボランティア(12月)はなみずきへ



除雪ボランティア・はなみずき(1月)



秋田朝日放送「トレタテ」より



比内とりの市ボランティア(1月)

(7) 保護者・地域等との連携

⑬ 保護者・地域への情報発信

[生徒] お便りを見せているか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	62.8	28.3	7.6	1.4
年度末	61.7	27.0	8.5	2.8

[保護者] 分かりやすいか

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	24.6	69.6	4.3	1.4
年度末	23.2	70.3	5.1	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	35.3	64.7	0.0	0.0
年度末	33.3	66.7	0.0	0.0



比内支援学校との交流（10月）



P T A 授業参観・3年進路学習（11月）  
「高校入試・面接のポイント」

(8) 地域貢献等

⑭ 地域での活動及び行事への参加、郷土愛の醸成

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	24.8	45.5	24.1	5.5
年度末	25.5	50.4	19.9	4.3

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	31.9	63.8	2.9	1.4
年度末	26.8	66.7	5.8	0.7

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	0.0	82.4	17.6	0.0
年度末	11.1	66.7	22.2	0.0



P T A 授業参観・1年進路学習（11月）  
「高校入試について」



小・中合同アルミ缶回収・収益金贈呈式（12月）

## V 学校運営 学校管理

学校の状況		自己評価A	協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校運営に対して主体的な参画をし、組織的に取り組んでいる。 危機管理も含めて、校内外とも安全・安心な教育活動を展開する。	中間	おおむね良好	良好	学校教育目標の達成のために、キーワード等を生かした指導が行われている。職員ヒヤリングから、全職員で不祥事の未然防止にも努めている。今後も安全・安心な教育活動に努めてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	クマ対策などの安全管理においては、地域への協力のお願ひも可能である。子どもが安全に安心して学校生活を送ることができるように、これからも学校運営に組織的に取り組んでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【中間（→年度末）】 生徒の「あしぼを意識した生活」について、肯定的な答えが90%以上であり、「校訓」「ひない力」「整える」等のキーワードを意識した生活を送っている。教師もキーワードを活用しながら、授業や学校行事等の様々な場面で発信している。 安全・安心について、クマの目撃情報や熱中症対策等の安全・安心に関する情報は、連絡メール等を活用しながら、随時、発信している。また、校舎の外壁の改修についても3か年計画での改修工事が決定した。今後も安全・安心な環境整備に努めていきたい。			
	【年度末（→次年度）】 学校教育目標を具現化するためのキーワードを意識した生活について、生徒及び保護者の約90%、教師の100%が肯定的な評価をしていた。授業や学校行事において、活気や笑顔が多く見られ成長を感じている。さらに、よりよい学校と元気な地域を目指していきたい。 安全面について、感染症拡大防止やクマ対策等の廊下掲示、一斉メール配信を行い、生徒や保護者に安心して学校生活を送ることができるようにした。今後も登下校の際の安全面等に配慮し、次年度以降も継続される外壁工事についても安心して学校生活を送ることができるように努めたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			中間	年度
(9) 学校運営への主体的な参画	⑮学校教育目標及び目指す生徒像の実現	◇具現化に向けた共通理解と共通実践、創意ある教育課程編成	3	3
(10) 安全・安心な教育活動の取組	⑯事故・危険発生の未然防止及び対応	◇校内外の安全点検、避難訓練の実施、生徒の安全な活動及び事故防止等の取組	3	3



不審者対応避難訓練（10月）



校舎外壁工事～3か年計画（9月）

(9) 学校運営への主体的な参画

⑮ 学校教育目標及び目指す生徒像の実現  
(あしばを意識した生活)

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	35.9	55.2	7.6	1.4
年度末	33.3	57.4	8.5	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	19.6	66.7	13.0	0.7
年度末	13.0	76.8	10.1	0.0

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	11.8	82.4	0.0	5.9
年度末	33.3	66.7	0.0	0.0



校訓	ひない力
明朗	<input type="checkbox"/> 人とうまく関わる力
剛健	<input type="checkbox"/> 何事にもあきらめずに努力する力
立志	<input type="checkbox"/> 今の学びを未来につなげる力

あいさつ (元気・笑顔)  
 時間 (守る・意識する)  
 場に応じた (行動・声かけ)

(10) 安全・安心な教育活動の取組

⑯ 事故・危険発生の未然防止及び対応  
「健康・安全な生活」

[生徒]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	70.3	25.5	4.1	0.0
年度末	66.7	31.9	0.7	0.7

[保護者]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	31.9	61.6	5.8	0.7
年度末	29.7	61.6	7.2	1.4

[教師]

%	そう思う	だいたい	あまり	まったく
中間	17.6	70.6	5.9	5.9
年度末	22.2	77.8	0.0	0.0



PTA授業参観・2年薬物乱用防止教室 (11月)

### 危険

グレーチングの上でブレーキをかけた、タイヤがスリップして転倒する危険があります。特に、朝の冷え込みや霜でグレーチングがぬれて滑りやすくなります。ぬれていると急ブレーキが利かなくなり、止まらないうちに滑り落ちてしまう危険があります。登下校時、十分気を付けてください。

この場所の手前でしっかりと止まり、足元をしっかりと見ましょう!

もちろん、どこでもスピードの出過ぎや急ブレーキ、急ハンドルを打つなど、自分と人の命を守る行動をとりましょう。

「グレーチング」といいます。ぬれがかかると滑りやすくなるので、十分に気を付けてください。

比内中学校前

### 重要!

## インフル ミルミル

「インフル」は、毎年冬から春にかけて流行する感染症です。感染力が強く、咳やくしゃみ、発熱、頭痛、喉の痛み、鼻水、のどが痛いなどの症状が現れます。重症化すると肺炎や脳炎、脳膜炎などの合併症を引き起こす可能性があります。特に高齢者や基礎疾患のある方は、重症化するリスクが高くなります。

① 咳やくしゃみなどの症状が現れたら、早めに医療機関を受診してください。

② 発熱や咳、のどが痛いなどの症状が現れたら、早めに医療機関を受診してください。

③ 予防接種は、インフルエンザの予防に有効です。予防接種を受けるようにしてください。接種後は、接種した部位が腫れたり、痛みが出たりすることがありますが、軽微な症状で済みます。

④ 予防接種を受ける際は、必ず接種券を持参してください。

⑤ 予防接種を受ける際は、必ず接種券を持参してください。

**県内インフル患者激増**  
過去10年最も高い数値

**全域警報レベル超え**

交通事故の注意喚起掲示 感染症拡大防止の周知